

大田原市文化財
保存活用地域計画
について



星 雅人 議員

質問…大田原市文化財保存活用地域計画の内容を伺います。

答弁…文化財保存活用地域計画とは、各市町村における文化財の保存、活用に関して、市町村が目指す目標や中長期的に取り組み具体的な内容を記載した基本的なアクションプランであり、文化庁長官の認定を受けることとなります。本年12月の文化庁長官の認定を目指しています。本市の地域計画は、市内にあ

る未指定も含めた文化財の※悉皆調査を踏まえて、扇状地形と湧水という自然の特徴、時の中心地と東北とを結ぶ交通の要衝地、里山の暮らしから生み出された生活文化といった本市の歴史文化の特徴を整理しました。そうした視点で多種多様な文化財を関連文化財群というまとまりとして捉えたり、文化財が集中する区域を文化財保存活用区域に設定したりしながら、具体

的な文化財の保存活用の取組として、城下町を中心とした建造物調査、市史編さんに係る自然、民俗、現代の各分野の詳細調査、郷土資料のデジタル化、那須神社の保存、修理、東山道関連の発掘調査などを重点事業に位置づけ、これらを含めて既存、新規合わせて70事業を掲げています。

※悉皆(しつぱい)調査とは、調査探求しようとする事象を全体にわたって漏れなく、また重複することなくすべてを調査すること

一般質問



鈴木 隆 議員

中学校における来年度からの新学習指導要領の実施に向けての準備などについて

質問…中学校における新学習指導要領の改訂内容及び準備状況、大田原市が目指す教育などについて伺います。

答弁…今回の学習指導要領改訂で教育内容の改善事項が幾つか示されています。その中の外国語教育とICT教育の充実を本市の本年度の教育方針で重点項目として示しており、さらなる学力向上を目指しています。ま

た、平成29年度から4年間にわたり小中学校全教職員を対象に、説明会を実施し、学習指導要領の確実な理解を図り、適切な教育課程の編成、実施ができるよう準備を進めています。

質問…小中学校におけるデジタル教科書や学習支援教材の活用について伺います。

答弁…小中学校とも国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教

科でほぼ全ての教員がデジタル教科書を活用し、授業を行っています。今年度中に児童生徒に一人一台の情報端末を整備するに当たり、市内の数校を実証校として指定し、ICTの効果的な活用方法の検証を行ってまいります。今後、児童生徒の学力向上を目的にしたデジタル教科書の活用について、引き続き研究を重ねてまいります。